

健康福祉分野 政策 1 「地域に根差したきめ細かな福祉の充実」

1 目指す姿

「自助」、「共助」、「公助」の適切な役割分担の下、市民が住み慣れた地域で健やかな暮らしができています。

- ・ 育児、介護、障害、貧困、社会的孤立など、個人や家庭が抱える多様化、複雑化した問題に対して、地域内の住民や医療・福祉関係者など多様な主体の連携による包括的な支援体制が整っている。
- ・ 安定的な社会保障制度の下、疾病、負傷、失業等の予期しない状況に陥っても、医療や生活保障が受けられている。

＜課題解決が進まない場合＞

市民が住み慣れた地域で安心した生活が送れなくなる。

- ・ 高齢者、障害者といった対象者ごとのきめ細かな支援体制の強化や 8050 問題、ダブルケアなどの複合化する問題に関わる、地域内の住民や医療・福祉関係者など多様な主体の連携が進まず、地域の福祉課題が深刻化する。
- ・ 少子高齢化の進行など社会経済情勢の変化により社会保障費の負担が増加し、安定的な制度の運営が困難となり、必要な医療や生活保障のサービスが低下する。

＜参考＞ 現状分析・社会潮流（※基本構想原案には、重視すべき項目を中心に抜粋して記載）

		好影響	悪影響
内部環境 (地域特性)	強み (十)	【健康福祉】 ① 姫路市避難行動要支援者名簿情報の提供に関する条例の施行 ② 民生委員・児童委員の解嘱率が低い ③ 72 連合自治会のうち 71 連合自治会で災害時要援護者支援事業を実施 ④ 地域福祉の中核的拠点である姫路市総合福祉会館の開設 ⑤ 姫路市成年後見支援センターの設置 【社会保障】 ⑥ 生活保護行政に係る面接相談員や就労支援員等のほか、高度な専門的知識を有する年金調査員及び損害保険調査員などの配置 ⑦ 被保護世帯数、人員の減少 ⑧ 後期高齢者健康診査受診率の向上	【健康福祉】 ① 自治会の業務量の増大 ② 民生委員・児童委員の業務量の増大やなり手不足 【社会保障】 ③ ケースワーカーの絶対数の慢性的不足 ④ 国民健康保険の現役世代の被保険者の減少 ⑤ 国民健康保険被保険者の一人当たりの医療費の増加 ⑥ 県内他市町と比べ特定保健指導の実施率が低い ⑦ 後期高齢者医療被保険者の増加による医療費の増大
	機会 (十)	【健康福祉】 ① 社会福祉法の改正 ② 国による「我が事・丸ごと」地域共生社会の推進 【社会保障】 ③ 生活困窮者自立支援制度の開始 ④ 全国的な雇用環境の改善（有効求人倍率の上昇） ⑤ 全国的な被保護人員数の減少 ⑥ 国民健康保険料水準の統一による財源の確保 ⑦ 保険者努力支援制度による財源の確保 ⑧ 全国的な国民健康保険料収納率の向上 ⑨ 医療の高度化 ⑩ 年金受給資格期間の短縮 ⑪ 年金生活者支援給付金制度の施行	【健康福祉】 ① 核家族世帯、単身者世帯の増加 ② 家族間の助け合いや地域のつながりの希薄化 ③ 8050 問題やダブルケアなど、複合化された問題の顕在化 ④ 他職種と比べ低い処遇などによる福祉の担い手不足 ⑤ 福祉分野における労働生産性が低い 【社会保障】 ⑥ 医療の高度化や高額医薬品、疾病構造の変化による医療費の増加
外部環境 (社会潮流・分野動向・震災)			

2 目指す姿を実現するための方向性

＜参考＞現総合計画の施策[第 4 次実施計画の該当ページ]

- A 男女が共に活躍できる環境の充実[P33]
(女性に対する暴力防止等の施策の推進)
- B 地域福祉力向上のための支援[P86]
- C 安心して暮らせる福祉環境の充実[P87]
- D 社会保障制度の適切な運営[P98]
- E 危機管理体制の構築[P129]
(地域防災対策の強化)

3 市民、地域、企業・団体に期待すること

※ 姫路市まちづくりと自治の条例に規定する基本原則（協働の原則）に基づき、市民、地域、企業・団体それぞれの主体にまちづくりにおける協働をお願いするもの。

<p>(審議会において) ご意見をいただきたい事項</p> <p>1 「目指す姿」について</p> <p>2 「目指す姿を実現するための方向性」について ＜主な検討課題＞ ア 支援が必要な人を地域全体で支えていくためにできることは？ イ 8050 問題やダブルケアなど福祉に関する複合化した問題を抱えた個人や家庭に関わる上で必要なことは？ ウ 医療や生活保障などの社会保障費の適正利用を促すには？</p> <p>3 「市民、地域、企業・団体に期待すること」について</p>
--